

Course number		U-LAS51 10005 SB48							
Course title (and course title in English)		クリティカルリーディングⅠ（全・英）-E3 Critical Reading I (All Faculties, English)-E3			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,CHIKAMATSU AKIHIKO		
Group		Career Development		Field(Classification)		International Communication			
Language of instruction		Japanese		Old group		Group C		Number of credits 2	
Number of weekly time blocks		1	Class style		Seminar (Face-to-face course)		Year/semesters		2025・First semester
Days and periods		Thu.1		Target year		2nd year students or above		Eligible students For all majors	
[Overview and purpose of the course]									
<p>この授業では、現代英語における学術研究的英文について、リーディングに重点を置きながら、ライティングも含めた形で理解、思考、表現の過程の総合的スキルを更に高めることを主な目的とする。</p> <p>具体的には、一般向けに書かれた言語論についての入門的英文を読むことを通して専門の違いに左右されない形で英文による学術的議論に触れることにする。その際の英文の難易度については、大学での学習、研究に必要な、上級の英文に対応することが出来るようにする。読む、書く、聞く、話すという技能では、読むことを中心としながら、書くことも行う。即ち、英文を理解し、思考し、それについて、英語で表現するという伝達活動の一環として、英語を学習する。活字を通して英文を読む過程に特に焦点を当てるとともに、そのことに関係して考えを英文で文章表現する学習（例えば、順番に担当する学生が、担当箇所の要点、あるいは、概要を英文で簡潔に板書する等の活動などを含む）もあわせて行う。その際、以上のことに加えて、英文の内容を理解するために参照される教養的知識等についても、同時に理解を深める。</p>									
[Course objectives]									
<p>大学の学部レベルで、それぞれの専門分野の学習、研究を行うために必要とされる英文を読んで、その内容を適切に理解することができる。また、大学生として必要とされる教養的な内容の英文も的確に理解できる。更に、それらの読解を通して、思考を深めることができる。その上で、そのようにして理解した内容に関して、自己の考えを英文で文章にまとめ、大学の学部レベルの議論に適したスタイルで適切に書き表すことができる。</p>									
[Course schedule and contents]]									
第1回 インTRODクシヨN									
第2回 (Modern) Linguistics 前半 ~ (Modern) Linguistics 前半 / 中									
第3回 (Modern) Linguistics 前半 / 中 ~ (Modern) Linguistics 中 / 後半									
第4回 (Modern) Linguistics 中 / 後半 ~ TIME: SYNCHRONIC AND DIACHRONIC 前半/後半									
第5回 確認と復習 1									
第6回 TIME: SYNCHRONIC AND DIACHRONIC 前半/後半 ~ CORRECTNESS: DESCRIPTION AND PRESCRIPTION 前半 / 後半									
----- Continue to クリティカルリーディングⅠ（全・英）-E3(2) -----									

第7回 CORRECTNESS: DESCRIPTION AND PRESCRIPTION 前半 / 後半 ~ GENERALITY: LANGUAGE AND LANGUAGES 前半 / 中

第8回 GENERALITY: LANGUAGE AND LANGUAGES 中 ~ GENERALITY: LANGUAGE AND LANGUAGES 中 / 後半

第9回 GENERALITY: LANGUAGE AND LANGUAGES 中 / 後半 ~ OBJECTIVITY: SCIENCE AND HUMANITY 前半 / 後半

第10回 確認と復習 2

第11回 OBJECTIVITY: SCIENCE AND HUMANITY 前半 / 後半 ~ ARGUMENTS AND AGREEMENTS 後半

第12回 ARGUMENTS AND AGREEMENTS 後半

第13回 その他、追加的教材

第14回 全体の復習とまとめ

フィードバック

（前期は教科書第一章のみを扱う。）

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

期末試験は行わずに、授業中に小テスト（英文を書く作業を伴うもの）を行う。そのほか、積極的な授業参加等を考慮し、評価を行う。成績評価に関しては、小テストと積極的な授業参加に基づく評価を主な材料として総合的に評価する。

全体としては、期末試験0%、平常点100%という比率になる。

(I)「授業中の小テスト」を60%、(II)「出席と参加の状況」を40%とする。

(I)「授業中の小テスト」(60/100)については、以下の要素に基づいて判断する：

(1)

a. 英文読解力1: 専門的研究への準備 (15/60)

b. 英文読解力2: 大学生の教養 (15/60)

(2)

応用的考察力 (12/60)

(3)

a. 英文表現力1: 正確性 (6/60)

b. 英文表現力2: 情報量の適格性 (6/60)

c. 英文表現力3: 文体的適格性 (6/60)

(II)「出席と参加の状況」(40/100)については、以下の要素に基づいて判断する：

クリティカルリーディングⅠ（全・英）-E3(3)

- (1) 受講態度 (20/40)
(2) 授業中の作業担当等 (20/40)
- （以上）

[Textbooks]

Richard Hudson(著) 菅山謙正(編注) 『入門言葉の科学 Invitation to Linguistics』（英宝社）ISBN:4-269-14055-0（この授業では、Ch.1のみを扱う。（プリント等を配付する場合もあり得る。））

[Study outside of class (preparation and review)]

（予習）毎回、教科書についてあらかじめ学習しておく。授業中に行われる内容に関する問答、質疑応答等に対応できるよう、自宅で準備をしていく事が求められる。準備として、通常の一般的な準備（語句の確認、本文の英文読解、注釈参照等）の上、本文の内容を理解しておくことが必要である。更にまた、小テスト等に備えて、自己の考えを英文でまとめられるよう、関係する英語表現等も含め、あらかじめ考えておく。なお、授業中に担当することになっている場合は、その担当箇所について、内容を前もって理解しておき、担当の際、要点、もしくは、概要を簡潔な英文で板書等することができるようにしておく。そして、それと共に、口頭で内容の解説（日本語）も行えるようにしておく。

（復習）読解された議論について、自己自身の思考を深められるよう、読解済みの英文を再読することが求められる。また、ライティングの力を更に向上させるために、授業の中で出てきた重要な英語表現等についても、いま一度、見直し等を行う。

[Other information (office hours, etc.)]

質問や必要な連絡等については、短時間で足りるものであれば、授業前後に教室等で対応する。必要な場合、メール等による質問や連絡等に対応する。

[Essential courses]